

HEART NEWS

2018年7月1日発行

Vol. 32

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



今年も、早くも半ばを過ぎてしまいましたが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

新年度に、循環器内科、心臓血管外科へ着任した医師は3ヶ月たちようやく当院の体制に慣れてきたように思います。

当センターで、2016年4月に導入した経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）の施行が2018年6月で100例に到達しました。約2年で、100例に到達したのは偏に、地域医療機関の先生方のご紹介のお蔭と感謝しています。今後も、気を引き締めて、大動脈弁狭窄症の治療に取り組んでいきたいと思ひます。

今回は、松村嘉起先生から、当院と北野病院で行っている「心不全診療における地域医療連携について」、また心臓血管外科からは、4月からスタッフとして着任された青山孝信先生からの新任の挨拶を掲載しています。

循環器センターのHP (<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>) もリニューアルしていますのでぜひ閲覧ください。

大阪市立総合医療センター 循環器センター長
循環器内科部長

成子 隆彦

心不全診療における地域医療連携

循環器内科 松村 嘉起

今回は、これまでもHEART NEWSで紹介してきましたが、心不全診療における地域医療連携について当院での取り組みを紹介させていただきます。

日本は、世界でも有数の超高齢化社会であり、今後高齢心不全患者数が大幅に増加する「心不全パンデミック」が訪れることが予想されています。

当院では、北野病院や近隣の先生方と共に、心不全パンデミックで増加すると思われる心不全患者の再入院を少しでも減らすために、診療所の先生方、訪問看護師はもちろん、薬剤師や栄養士、ケアマネジャー、ヘルパーにも声をかけて、多施設・多職種が連携することで患者さんのサポート体制を構築することを目指しています。

連携の方法として、①患者教育の標準化②評価方法の標準化③診療情報の標準化を行うために、ハートノート、自己管理ノート、クリニカルパスを作成しました。これまで基幹病院の我々、連携する医療機関の先生方が行ってきた患者教育や、病状の評価をハートノート・自己管理ノートを用いて患者の家族や様々な職種の方にも行っていただき、チーム一丸となって心不全患者の再入院を減らそうとする試みです。クリニカルパスは、連携する医療機関の先生方と病状の共有をより簡易化する目的で作成しました。

今後もこの試みに関連する勉強会を行っていく予定ですので、興味がいございましたら、ぜひお越し下さい。

診療情報の標準化

クリニカルパス



患者教育の標準化

ハートノート



評価方法の標準化

自己管理ノート



循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
午後	阿部 占野(ペースメーカ)	松村		仲川	成子

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
午後			占野(不整脈)		林(不整脈) 松本(TAVI)



平成30年4月より大阪市立総合医療センター心臓血管外科に赴任いたしました、青山孝信（あおやまたかのぶ）と申します。平成9年に大阪市立大学を卒業し、2年間の研修医修了後、心臓血管外科を選択しました。その後、大阪市立大学大学院にて学位を取得後、平成15年から4年間ベルランド総合病院に勤務し、平成19年には1年間でしたが当院に前期研究医として勤務しておりました。その後、JCHO大阪病院に7年、済生会野江病院に3年間勤務して、今回10年ぶりに当院に勤務させて頂くことになりました。

近年、心臓血管外科領域の手術方法は非常に発展してきています。例えば、大動脈弁狭窄症に対する手術は、以前なら人工心肺装置を使用して心停止下に弁置換術をするしかありませんでしたが、現在ではカテーテルを用いて人工弁を留置すること(TAVI)ができる様になっています。また動脈瘤に関しても開胸あるいは開腹しての人工血管置換術しかありませんでしたが、現在は、経カテーテル的なステントグラフト内挿術が増加しています。その他、様々な小切開手術・低侵襲手術も行われてきており、今後は、ロボット支援手術も導入されていくことが予想されます。

当科では心臓血管外科医だけでなく循環器内科、麻酔科、集中治療部、看護師、臨床工学技士、放射線技師、リハビリ科など多数のスタッフと連携し、このように多様化した治療法を取り入れ、患者さんにとって術後のQOLまで考慮した最適な治療法を提供できるように常に心がけております。また、地域の公的基幹病院としての責務を果たすべく 急性大動脈解離などの緊急症例も積極的に受け入れ、救命に努めております。

私も当科の一員として少しでも皆様のお役に立てるように取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	佐々木	阪口	佐々木	尾藤
午後	青山	佐々木	阪口	佐々木	尾藤

診察予約(地域医療連携室)

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

平 日 8:45～20:00

今号の循環器日記

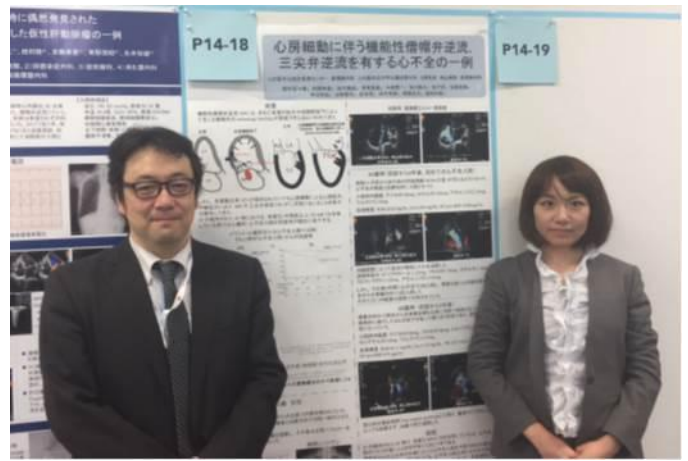
我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れています。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。例年4月から6月は心エコー図検査に関係する学会や研究会が多く開催され、エコーグループにとっては大変充実した（つまり忙しくて大変な）時期です。

写真①は、4月に盛岡で開催された日本心エコー図学会に参加した際に撮影したものです。皆にとって初めての盛岡でしたが、美しい岩手山を眺める大変綺麗な街で、楽しく過ごすことができました。写真②は、野村医師のポスター発表時の記念写真です。

写真③④は、5月に大阪で開催したThe Echo Live 2018の様子を撮影したものです。本会は、岡山大学の伊藤浩先生が代表世話人を務める心血管エコー図検査の教育プログラムで、当センターの阿部医師と東京ベイ浦安市川医療センターの渡辺弘之先生が共同して企画運営を行っています。今回、松村医師もワークショップで症例提示を行いました。本会の信条は、『Something new, something special!』と『楽しんで学ぼう!』です。来年も、2019年6月29-30日に、大阪ハービスホールで開催予定です。またお会いできるその日まで、『Have a nice echo!』



写真①



写真②



写真③



写真④

当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けることができるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。